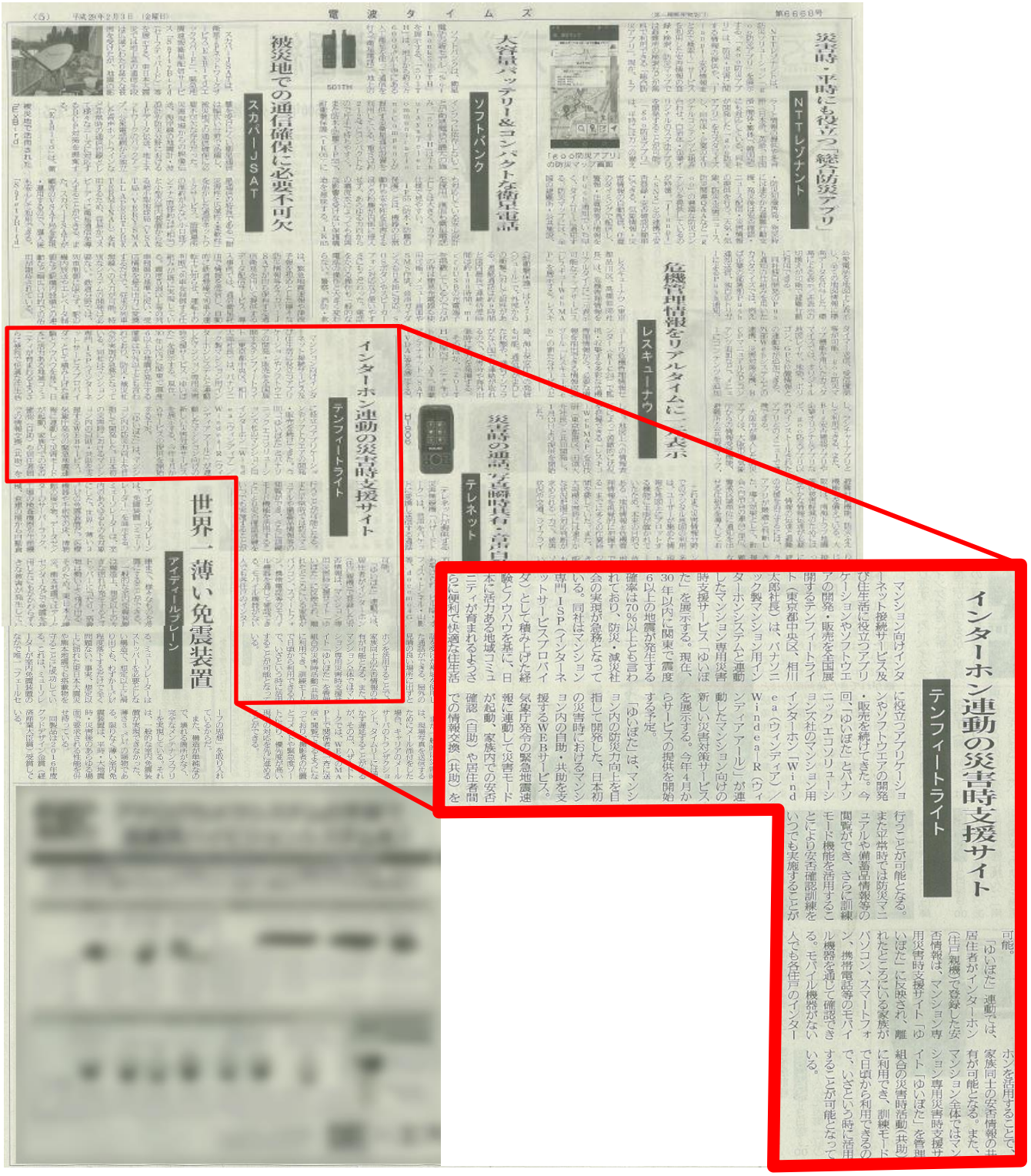
電波タイムズ　2017.2.3



インターホン連動の災害時支援サイト

テンフィートライト

マンション向けインターネット接続サービス及びインターネットやソフトウエアの開発・販売を続けてきた。今回、「ゆいぽた」とパナソニックエコソリューションズ社のマンション用インターホン「Windea（ウィンディア）」が連動したマンション向けの新しい災害対策サービス「ゆいぽた」を展示する。現在、30年以内に関東で震度6以上の地震が発生する確率は70％以上とも言われており、防災・減災社会の実現が急務となっている。同社はマンション専門ISP（インターネットサービスプロバイダ）として積み上げた経験とノウハウを基に、日本に活力ある地域コミュニティが育まれるようさらに便利で快適な住活に役立つアプリケーションやソフトウエアの開発・販売を全国展開するテンフィートライト（東京都中央区、相川太郎社長）は、パナソニック製マンション用インターホンシステムと連動したマンション専用災害時支援サービス「ゆいぽた」を展示する。今年4月から30年以内に関東で震度6以上の地震が発生する予定。

「ゆいぽた」は、マンション内の防災力向上を目指して開発した、日本初のマンション内の自助・共助を支援するWEBサービス。気象庁発令の緊急地震速報と連動して災害モードが起動、家族内での安否確認（自助）や居住者間での情報交換（共助）をホンを活用することで、家族同士の安否情報の共有が可能となる。また、マンション全体ではマンション専用災害時支援サイト「ゆいぽた」を管理組合の災害時活動（共助）に利用でき、訓練モードで日頃から利用できるので、いざという時に活用することが可能となっている。モバイル機器がないいつでも実施することが行うことが可能となる。また平常時では防災マニュアルや備蓄品情報等の閲覧ができ、さらに訓練モード機能を活用することにより安否確認訓練をパソコン、携帯電話等のモバイル機器を通して確認できる。モバイル機器がない人でも各住戸のインター可能。

「ゆいぽた」連動では、家族同士の安否情報の共有が可能となる。また、マンション全体ではマンション専用災害時支援サイト「ゆいぽた」を管理組合の災害時活動（共助）に利用でき、訓練モードで日頃から利用できるので、いざという時に活用することが可能となっている。モバイル機器がない人でも各住戸のインター